

情報実験INEX 2020

第2回

情報実験機へのリモート アクセス

北海道大学理学院
宇宙理学専攻 修士課程2年

杉山 玄己

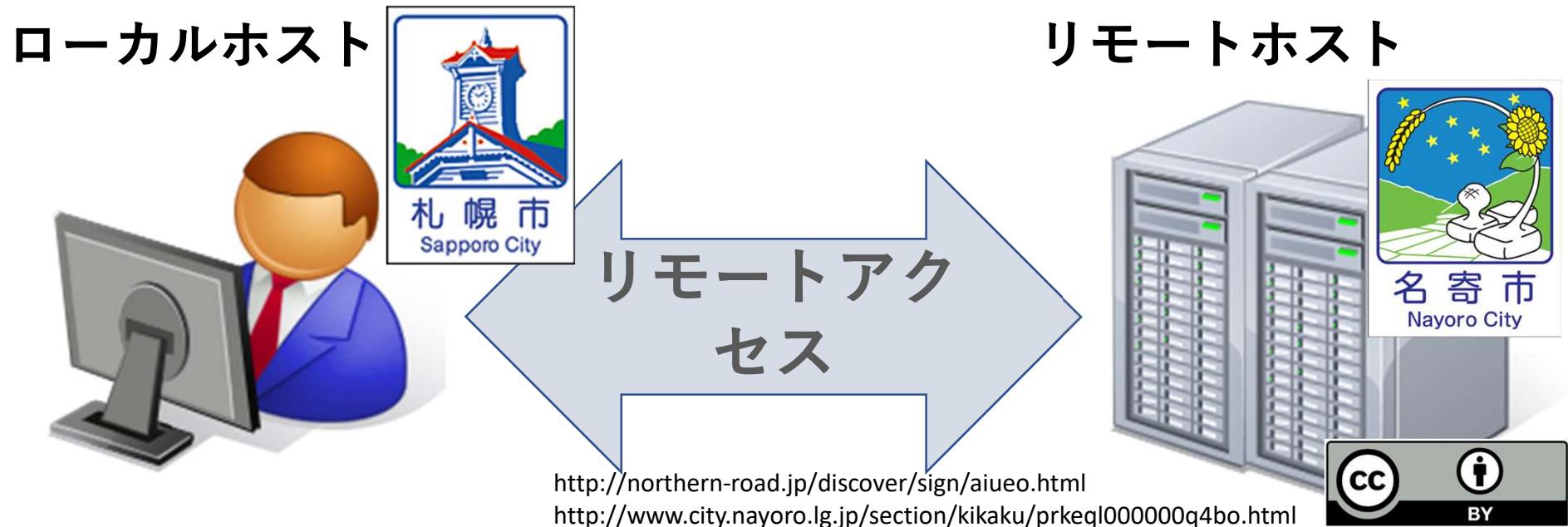


本日の内容

- リモートアクセスとは
- リモートアクセスに使用されるプロトコル
- リモートアクセスの危険性
- 公開鍵認証とは
- 実習：情報実験機にリモートログインしてみよう

リモートアクセスとは

- 手元の計算機(**ローカルホスト**)から別の計算機(**リモートホスト**)へネットワークを經由して接続・操作すること
 - リモートログイン
 - リモートアクセスを用いたファイル転送



リモートログイン

- ローカルホストからリモートホストへログインすること
 - ログイン: アカウント情報を用いて認証した後に、コマンド等を利用できる状態にすること
 - 事前にリモートホストのアカウントが必要
- 主に使用するコマンド
 - ssh

リモートログインのイメージ



ホスト名: joho18
アカウント名:
hoge

ssh コマンドを用いて,
リモートログインを要請

ログインパスワードを要
求



ホスト名: joho24
アカウント名:
hero

```
hoge@joho18:~ $ ssh hero@joho24  
hero@joho24's password:
```

リモートログインのイメージ



ホスト名: joho18
アカウント名:
hoge

ログインパスワードを送
信

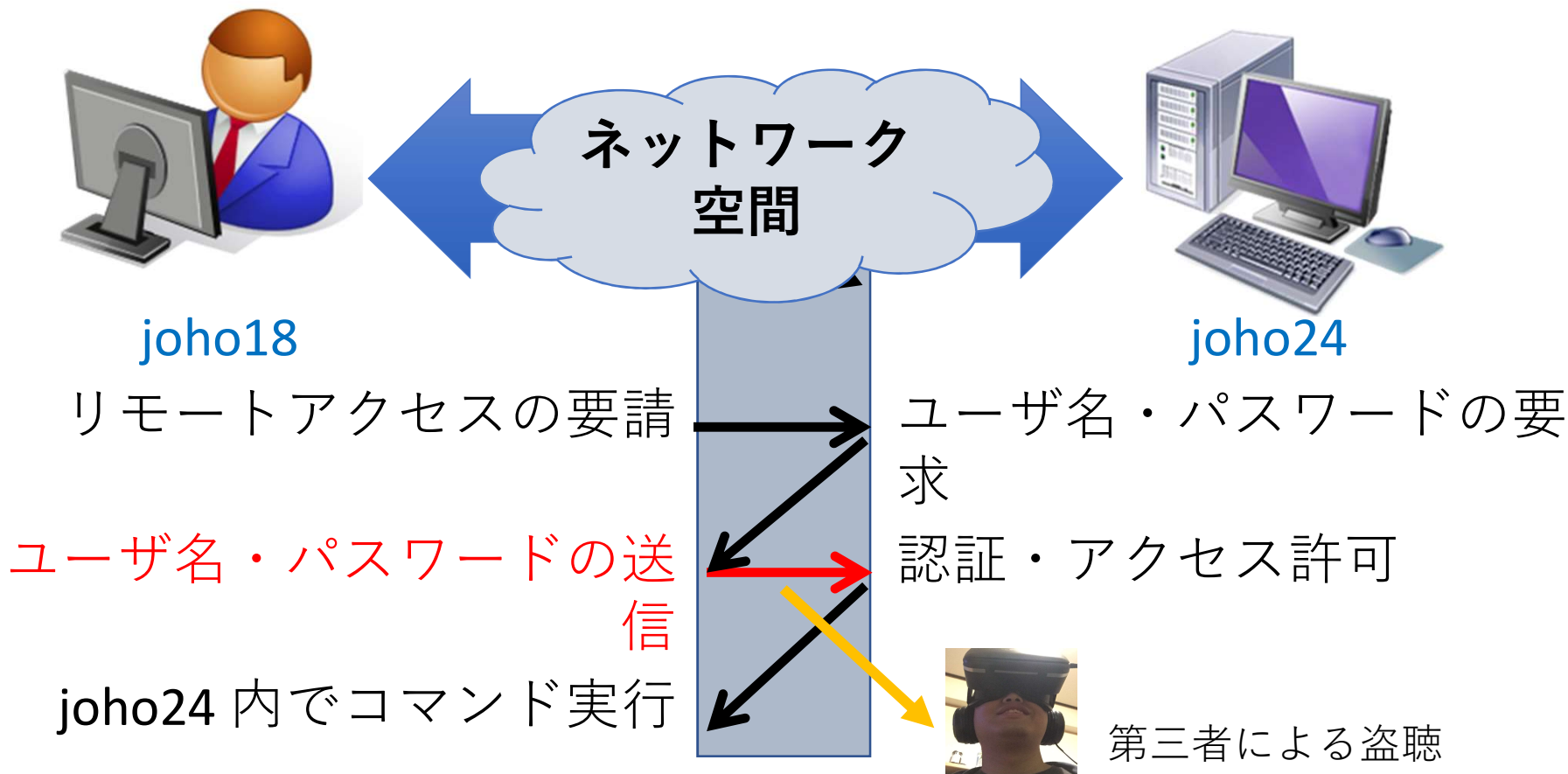


ホスト名: joho24
アカウント名:
hero

ログインを許可

```
hoge@joho18:~ $ ssh hero@joho24
hero@joho24's password: (パスワードを入力)
....
hero@joho24:~ $ █
```

リモートアクセスの危険性



重要な情報が盗聴される危険性がある！

パケット盗聴

- ネットワーク上に流れる情報を盗み見ること
 - 情報はネットワーク上の様々な計算機を経由
 - いたるところで盗聴される可能性有り
- パケット盗聴への対策
 - 暗号化通信
 - 通信を暗号化し, 第三者に見られても内容が分からないようにする

ユーザー認証

- 接続を試みるユーザーが本当に正規のユーザーなのか（計算機の管理者からアカウントを取得したのか）確かめる必要がある
- 正規ユーザーしか持っていない情報で認証
 - 例えば
 - パスワード
 - 公開鍵
 - 指紋や虹彩などの生体情報
- 今回利用するのは公開鍵認証

リモートアクセスに関する用語

- **プロトコル：**

- リモートアクセスを行うための共通の約束事
 - 送受信するデータの形式
 - やり取りする際の作法など

- **Telnet, FTP, SSH**

- リモートアクセスを行うためのプロトコル
- それぞれのプロトコルで用途や仕様が異なる

- **ポート**

- ネットワークと情報をやり取りするための窓口
(詳しくはまた別の回で)



Telnet(Teletype Network)

- 古くから利用されるリモートアクセス用プロトコル
- 使用ポート：23番
- **通信が暗号化されない(危険・非推奨)**
 - 現在は主にポートチェック(特定のポートの開閉を確認)に使用
- このプロトコルを利用する主なコマンド
 - telnet



FTP(File Transfer Protocol)

- 古くから利用されるファイル転送用プロトコル
- 使用ポート: 21番
- **通信が暗号化されない(危険・非推奨)**
 - 現在は匿名利用前提の通信で利用可能
 - Debian アーカイブミラーなど
- このプロトコルを利用する主なコマンド
 - ftp



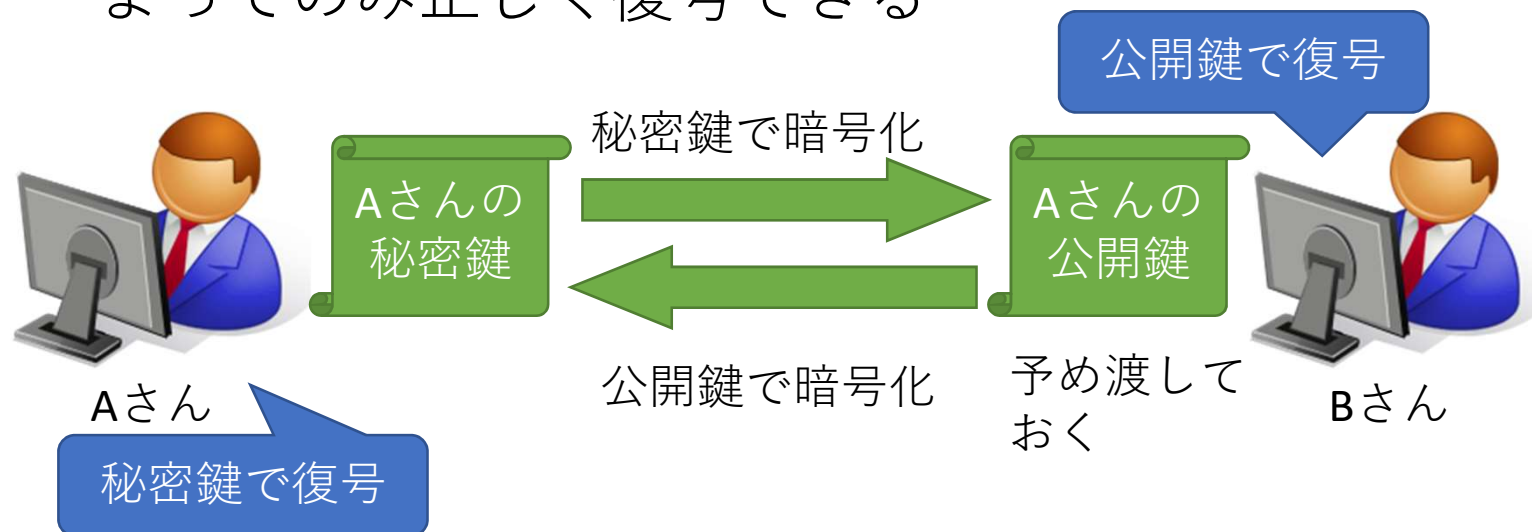
SSH (Secure Shell)

- リモートアクセス用プロトコルの一つ。ネットワーク上に流れる情報を暗号化する
- 主なソフトウェア：
OpenSSH（オープンソース）
- 使用ポート：22 番
- パケットを暗号化
 - Telnet, FTP など他のプロトコルよりも安全に通信可能
 - 暗号化する分通信速度低下
- このプロトコルを利用する主なコマンド
 - ssh, sftp, scp など



公開鍵暗号（RSA公開鍵暗号） とは

- 暗号化と復号のために「公開鍵」と「秘密鍵」のペアを用いる暗号化方法
 - 秘密鍵で暗号化されたデータは、対応する公開鍵によってのみ正しく復号できる
 - 公開鍵で暗号化されたデータは、対応する秘密鍵によってのみ正しく復号できる



公開鍵を用いたユーザー認証

- 予め公開鍵をリモートホストに登録しておき、接続時にユーザーが対応する秘密鍵を持っているか確認する認証方式
- 利点：
 - パスワードなどの機密情報がネットワークに送信されない
 - パスワード推測攻撃に強い

公開鍵認証の必要性

- パスワード認証の場合

アカウント名:****
パスワード:¥¥¥¥



ログインを要求



傍受

第三者



ユーザーに成りすましてログイン



- 公開鍵認証の場合

秘密鍵の所持を証明



第三者



公開鍵に対応する秘密鍵がないので認証できない

公開鍵の情報から秘密鍵の所持確認を要請



実習：情報実験機へのリモートログイン

- 前回suuにアップロードした公開鍵を情報実験機に登録してありますので、さっそく接続してみましよう
- 詳細な手順は実技資料にて

参考資料

- 入門OpenSSH 新山 祐介
<https://www.unixuser.org/~euske/doc/openssh/book/index.html>
- リモートアクセス/ネットワークセキュリティ
情報実験 第8回 (2019/06/21)
<http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~inex/y2019/0621>